

導入事例集

～遠隔画像診断編～

いつでも どこでも
リアルタイムに医療情報を共有



目次

1. 病院での活用事例

- 事例① スポット読影で専門外の患者さんにも自信を持って説明ができるように
- 事例② 遠隔読影のスポット利用で入院患者の内科疾患にも対応

2. クリニックでの活用事例

- 事例③ クリニックでも総合病院並みの診断体制を実現

3. 健診センターでの活用事例

- 事例④ 健診読影のアウトソーシング化で現場の負担軽減&収益アップ UP

4. 【番外編】CT搭載車の活用事例

- 番外編① 患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用
- 番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現

5. エムネスの遠隔画像診断

6. お問い合わせ・無料トライアル

7. エムネスについて

病院での活用事例

事例① 医療法人徳松会 松永病院

スポット読影で専門外の患者さんにも
自信を持って説明ができるように



事例① 専門外の領域をスポット読影依頼



医療法人徳松会 松永病院 様

【専門】整形外科

【お話を伺った方】

理事長・院長：松永厚美 様 / 技師長：佐野万博 様

【課題】 専門外の所見がみられる患者に対しスポット読影の依頼ができないかなど探していたが、費用やクオリティの問題などで中々いいところが見つからなかった

■ 導入の背景

専門外の領域についてスポットで読影してくれるところを探していたところ、偶然エムネスを知り検討を開始

■ 導入の決め手

セキュリティ面で安心感があったし、初期導入にハード(専用機器)が必要ないのも大きな魅力だった

■ 導入後の効果

電子カルテに入れてコメントしたらすぐ依頼が出せるし、結果返却も早い。思っていたところと違うところに所見が見つかるなど、さすがと思う事例や勉強になる所見が多い

事例① 専門外の領域をスポット読影依頼

■ 導入の背景

専門外の所見が見られる患者に対しスポット読影の依頼を検討

当院は病床数27床の小病院で地域の外科系の二次救急病院ですが、かかりつけ医という立ち位置もあるため「できればここで全てを済ませたい」という患者も多く来院します。常勤医師は内科系医師が1名、整形外科・リハビリテーションを担当する医師が2～3名ほどおり、私自身は整形外科医です。そのため運動器のCT・MRIは自分で読めますが、何かおかしいなと思った場合、内科疾患を疑うものの専門外のため自信がないこともありました。そこで、専門外の領域をお金を払ってでも放射線診断専門の先生に読んでもらう必要性を感じていました。

当院は徳島県に位置し地域柄開業医も多く近くに大きな大学病院もあるため、そういった専門外の領域を読影する場合、他院では放射線科医の先生を非常勤で雇っている場合が多いです。そんな中、偶然雑誌でエムネスのを知り、放射線科医を非常勤で雇うのではなく、自分の専門外の疾患だけを依頼することもできるんだと思い、導入の検討を始めました。

事例① 専門外の領域をスポット読影依頼

決め手はセキュリティ面での安心感と初期導入のしやすさ

当院ではシステム化が進んでいるため電子カルテなどと連携できるものが良かったのですが、他社のサービスではネットワークのセキュリティが不安でした。エムネスではアナログとデジタルのハイブリッド化ができ、繋ごうとしなければ繋がらないのでセキュリティ面も安心できました。

当院では読影システム (LOOKREC) とモダリティは繋げておらず、モダリティの画像をシステムに入れる際は専用のUSBを介して行っています。全てデジタルで繋がっている方が便利だとは思いますが、アナログとデジタルのちょうどいいところで安全性を保っています。

また、初期導入にハード (専用機器) が必要ないという点も大きな魅力の1つでしたし、非常勤の先生を雇うことに比べてエムネスはコスト面でも魅力がありました。



事例① 専門外の領域をスポット読影依頼

■ 導入後の効果・満足度

自信をもって説明できないものはとりあえず読影へ依頼

今までは気になる所見を1枚だけ読影依頼に出したくても信用度やコストの問題などあってお願いできずにいましたが、今では少し気になるものはとりあえず画像を取って読影に流すということが気軽にできるようになりました。患者の負担にならないので、気軽に出せる点が気に入っています。システムも便利で、電子カルテに入れてコメントを付けた後、システムに入れるだけでどんどん吸い上げてくれるので、総合的に満足度は高いです。

結果返却も早く、勉強になる所見も多い

私自身、消化器系に苦手意識があったのですが、単純CTでも明らかにおかしいとか勉強になる所見が多く、導入して初年度はさすがと思う事例がいくつもありました。結果返却も早く（最近朝だしたら夕方返ってくることも）、脾臓が悪いと思って送ったら胃腸も悪かったということもあります。我々は臨床所見ばかりを気にしていますが、放射線科医の先生は画面全体をみているため、思っていたところと違うところに所見が見つかるということもよくありますし、逆にここが怪しいんじゃないかと思っても白紙ということもよくあります。

事例① 専門外の領域をスポット読影依頼

■ まとめ・今後の期待

安定したレポートのクオリティと肺がん検診への期待

常勤で放射線科医がいない場合、放射線科医を非常勤で雇っているところが多いでしょうが、**エムネスのレポートのクオリティは高いですし、読影件数がそこまで多くないのであればお薦めです。**

エムネスが肺がん検診も読影できるようになると嬉しいです。私は産業医もやっていますが、現場系の会社はまだまだ喫煙率がとても高いです。肺がん検診がもっとサクサクできるようになったらいいのと思います。



事例② 医療法人社団 峰至会 桜十字白金リハビリテーション病院 様

遠隔読影のスポット利用で
入院患者の内科疾患にも対応



事例② 遠隔読影のスポット利用で入院患者の内科疾患にも対応



医療法人社団 峰至会 桜十字白金リハビリテーション病院 様

【業態】回復期リハビリテーション病院

【お話を伺いした方】診療放射線技師：高橋寛臣様

【課題】 紹介されてくる患者が入院される際、内科疾患を持っている場合ダブル読影をしたいが、そこまで件数がないため放射線科の先生を雇うほどでもない

■ 導入の背景

提携グループの巡回健診部門を立ち上げる際にクラウドの2次利用サーバーとしてLOOKRECを導入。その際、エムネスが遠隔画像診断の会社だと知り、遠隔読影の依頼も導入を検討

■ 導入の決め手

読影のアップロードやダウンロードなどのシステム面での使いやすさとコスト面。また、広島大との繋がりなどバックボーンがしっかりしているところ

■ 導入後の効果

過去画像比較をしてもらえているのでありがたい。読影結果の返却が当初聞いていたより早いので、結果の速さにすごく満足している

事例② 遠隔読影のスポット利用で入院患者の内科疾患にも対応

■ 導入の背景

紹介されてくる患者が入院される際、内科疾患を持っている場合の読影先として

桜十字白金リハビリテーション病院は2023年4月に開院した病床数約60床の病院です。現在は、近隣の急性期の大きな病院からの紹介による入院患者さんの受け入れのみで外来診療は受けておりません。常勤医は院長と副院長の2名のみで、非常勤医が1人います。患者さん1人1人に専任のスタッフがついて毎日リハビリしており、1人のスタッフが3～5人くらいを担当しながら患者のQOL向上を目指して頑張っています。

院長が整形外科の先生、副院長が脳外科の先生のため整形や脳神経疾患の疾患がある患者の受け入れが基本ですが、受け入れる入院患者に内科疾患などがある場合にどうするか？というのが課題でした。とはいえ、読影件数が日常的に沢山あるわけではないため常駐の放射線科医を雇うほどでもなく、遠隔画像診断を利用するに至りました。今まであった例ですと「誤嚥性肺炎」や「腹水が溜まっている」といった先生方の範疇外の疾患の場合にエムネスの遠隔画像診断を利用しています。

事例② 遠隔読影のスポット利用で入院患者の内科疾患にも対応

決め手は画像のアップロードやレポートのダウンロードなど、システム面での使いやすさ

白金リハビリテーション病院立ち上げ前に勤務していた赤坂桜十字でも遠隔読影を使用していましたので、最初はそちらにお願いしようかと考えていました。しかし、そちらは健診専門だったため一般の疾患となると専門外のため一般診療も見れるところを検討していました。

そんな中、巡回健診部門立ち上げの際にクラウドの2次利用サーバーとして導入したLOOKRECの会社であるエムネスさんが遠隔読影の会社ということを知り、相談させていただきました。

読影自体は依頼してみないとわからないので他社の読影内容と比較はできていませんが、**決め手は画像のアップロードやレポートのダウンロードなどシステム面での使いやすさ**でした。また、システムと読影料金を合わせたトータルでのコスト面や、広島大学との繋がりなどバックボーンがしっかりしている点も導入のポイントです。本部部門で既にシステムを利用していた流れもあり、スムーズに導入できました。



事例② 遠隔読影のスポット利用で入院患者の内科疾患にも対応

■ 導入後の効果・満足度

単科の病院や放射線科医を常駐できない病院にオススメ

元々件数自体はそこまで多くを想定しておらず、依頼件数は月に数件程度です。「誤嚥性肺炎」や「腹水が溜まっている」など整形や脳外の先生では範疇外の疾患がある患者さんを受け入れる際の**ダブル読影先(コンサル先)**として利用しています。

例えば、10月に依頼をした患者さんの場合、転院前の画像を付けて依頼したところ、それと合わせて**比較読影**をしてもらっていたので、**安心感**がありました。それ以外の場合でも、**過去画像比較**をしてもらっているのでありがたいです。

また、読影結果の返信が当初聞いていたより早いので**結果の速さ**にも**すごく満足**しています。単科の病院や放射線科医を常駐できない(画像枚数がない・スペースがない)病院には特にオススメです。



クリニックでの活用事例

事例③ 医療法人 MIRAI・BOSHI 安佐南内科リウマチ科クリニック 様

放射線診断専門医による読影で、
クリニックでも総合病院並みの
診断体制を実現



事例③ クリニックでも総合病院並みの診断体制を実現



医療法人 MIRAI・BOSHI 安佐南内科リウマチ科クリニック 様

【専門】リウマチ膠原病と呼吸器

【業態】クリニック

【お話を伺いした方】院長 舟木 将雅先生

【課題】自分の専門外の患者が来た時の診断精度の担保をどうするか

- 導入の背景 勤め先の病院がLOOKRECを使っていて、日常的にレポートを目にしていた
- 導入の決め手 診断レベルが高い。読影所見の書き方がとても丁寧
- 導入後の効果 地域のクリニックでも、遠隔画像診断を使えば、総合病院と同等の体制で診断できる

事例③ クリニックでも総合病院並みの診断体制を実現

■ 導入の背景

診断レベルが高いことを知っていたので

広島市の医療法人MIRAI・BOSHI 安佐南内科リウマチ科クリニックは、2019年10月の開業当初からエムネスの遠隔画像診断サービスを利用しています。「診断レベルが高いことを知っていたので」と、院長の舟木将雅先生。かつて、勤め先の病院がエムネスの遠隔画像診断サービスを使っていて、日常的にレポートを目にしていました。このサービスのおかげですごく助かっている。

事例③ クリニックでも総合病院並みの診断体制を実現

■ LOOKREC導入の決め手

専門外の領域も幅広く細かい読影で安心

私は、全身疾患であるリウマチ膠原病と呼吸器が専門なのですが、CTを導入するならエムネスの遠隔画像診断サービスを使う、以前からそう決めていました。かつて、勤務先の病院がそれを利用して、私を含め勤務されている先生方がみな、エムネスの良質な読影に安心していました。

放射線専門医の読影所見の書き方は様々です。「肺がんはありません」「肺炎はありません」と、シンプルで明快な所見を書かれる先生もおられます。エムネスの先生方は、どなたもとても丁寧に、主治医が診てほしいところを読影するだけではなく、撮影範囲内のわずかな所見や、主治医が予想もできなかった異常所見まで報告していただきます。臨床医として画像を診る中で、これは何を意味しているのだろうと疑問に感じる細かい所見がありますが、そういう軽微なものまで解説していただけます。自分の読影力アップにもつながります。

画像所見から様々な鑑別疾患を検討していただき、主治医が臨床所見と合わせて確定診断ができるようにサポートしてくれているのが分かります。きちんと読影してもらっているなあという安心感があります。さらに、異常があり、フォローが必要な場合には、「3カ月後に再検査されてはいかがでしょうか」などと、具体的に提案してくれます。自分が専門ではない分野の時など、特に助かります。

事例③ LOOKRECで検査画像をリアルタイム共有

■ LOOKREC導入後の効果

遠隔読影で総合病院並みの診断体制を実現

総合病院でCT検査をすれば、主治医と、放射線専門医が診断しますよね。地域のクリニックでも、遠隔画像診断を使えば、総合病院と同等の体制で診断できるわけです。

たとえば胸部CT画像には肝臓も写っていたりしますが、私は呼吸器が専門ですので、肺を中心に見ます。正直な話、肝臓の所見は見逃す可能性があります。でもエムネスの先生方がすべての部位を診てくれる。だから私も安心ですし、患者さんも安心です。

診断料を払う価値は間違いなくありますよ。CT導入を考えるなら、エムネスの遠隔読影サービスの導入をお勧めします。自分の専門外の所見をエムネスが見つめてくれたら、患者さんを近隣の専門医に紹介するので、それが他院と連携するきっかけになる。そういうメリットもあります。

事例③ LOOKRECで検査画像をリアルタイム共有

小さな病変も見逃さず早期治療に繋がる診断

私はリウマチ専門医ですので、関節の痛みを訴える患者さんが多数いらっしゃいます。血液検査して、リウマチや膠原病は肺合併症が多く、膠原病の中には悪性腫瘍を合併しやすい疾患もあります。

さらに、多関節痛の原因が腫瘍随伴症候群である恐れもあるため、CT検査を施行する場合があります。その結果、開業から半年のうちにがんが見つかった患者さんが5人います。肺がん3人、腎がん1人、乳がん1人。みなさん早期がんだったので、それらしい自覚症状はまるでなかった。「関節が痛い、リウマチかな？」と心配して受診した結果、早期がんが見つかり、患者さんはびっくりしますが、喜ばれます。早期治療につながりますから。遠隔画像診断のおかげです。

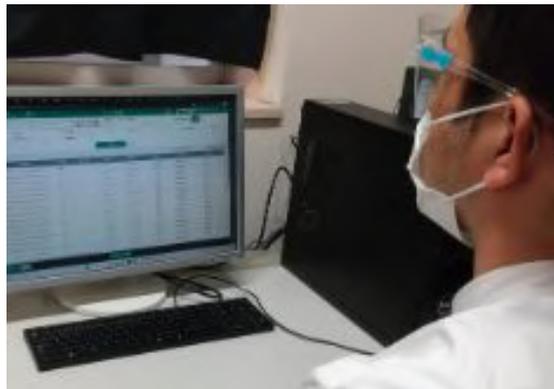
健診センターでの活用事例

事例④ 川崎医療生活協同組合

健診読影のアウトソーシング化で現場の負担軽減&収益 UP



事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP



川崎医療生活協同組合 様

【業態】診療所／病院／健診・検診

【お話を伺った方】

所長: 桑島 先生 / 診療放射線技師: 宍戸 様

【課題】 一般診療の合間に健診読影をしていたが、診療へ支障をきたしていた
& 結果返却に時間がかかっていた。比較読影や二重読影の環境を整備したかった。

■ 導入の背景

今後さらに健診を増やしていきたいが、最近読影医の資質を問われたり、比較読影や二重読影の必要性も高まっているため、今までのやり方では数がはけなくなってきた

■ 導入の決め手

新しく人を雇うのに比べ、システムを含めたトータルコストが格段に安いと思った。読影医の専門性が高い・導入までの対応が早い・信頼できる会社ということで導入に向けて何も問題がなかった

■ 導入後の効果

比較読影・二重読影もでき、結果返却に今まで1ヶ月かかっていたものが、標準的に2週間で返却できるようになり大変満足している

事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP

■ 導入の背景

現場のリソース不足がボトルネックとなり、健診結果の返却に時間がかかり件数も増やせない

(桑島先生)川崎医療生活協同組合は全部で1病院(267床)、7医科診療所、1歯科診療所、訪問看護ステーション、老健施設をもつ医療と介護の医療福祉団体です。2022年4月に病院にあった健診部門を協同ふじさきクリニックにすべて移して健診センター化しました。読影医の体制については病院に常勤専門医とパートの読影医がいます。ただ、パートの先生は週1回の勤務ですし、常勤の先生もCTやMRIで手いっぱいになってしまい、健診の結果返却に時間がかかっていました。そのような状況の中でも、できるときは比較読影や二重読影を行っていましたが、限界がありました。

経営的には、今後の外来患者数減少を鑑み、国保の健診と協会けんぽを計画的に拡大していく方針でしたが、現場の医師だけだとリソース不足に陥り「健診が負担になる」という様なムードにもなりました。結果、自分たちでできるところは自分たちでやる、できないところは手伝っていただくというところで、展示会にてエムネスさんに出会いました。

事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP

高品質×スピーディな対応×最強コスパで、導入を決定

(桑島先生)話を聞いてみて、まず安さに驚きました。元々は新しい医師を雇うことも考えていたのですが、パートの放射線の先生はコストが高く、枚数制限がかかったりとあまり現実的ではありませんでした。それと比較すると、エムネスさんはシステムを含めてもトータルコストが安かったので「本当にこの値段でいいの?」と思いました(笑)

最近では、国保の健診でも読影医師の資質を問われるようになってきており、専門医が読影すれば問題ありませんが、今までのやり方だと数のはけなくなっていました。エムネスさんの医師なら専門性が高く、その問題もありません。医師のプロフィールなども見せていただきましたし、商談当初に社長さんともお話しさせていただき、しっかりした会社だということも確認できました。

また、少人数で読影している状況をともかく早く改善したかったというのもあり、導入までに時間がかからないことも良かったです。結果、商談から2週間でスピード導入に至りました。



事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP

■ LOOKREC導入後の効果

読影がともかく早い! 1ヶ月かかっていた結果返却が2週間になり大変満足

(桑島先生) 現在は、7つの診療所の胸部レントゲンを全てエムネスさんをお願いしています(一次読影&二次読影:6施設、一次読影のみ:1施設)。ボトルネックが解消され、2週間以内の結果返しが実現できるようになったのはありがたく、今のところ満足度は高いです。今後もっと評価が高くなることもあり得ると思いますし、また違う部位などもお願いして評価が変わっていくこともあると思います。

これから益々健診を増やしていくという中で、とりあえずソフトランディングできているのは本当にありがたいです。健診を増やせば増やすほど自分たちの負荷が増えていき、しんどくなるという状況を回避できてよかったです。将来、健診は全部エムネスさんにというのもあり得ると思っています。



事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP

グループ内での横展開もwelcomeムードで問題なくスムーズに行えました

(宍戸さん) 横展開当初は、一次読影は自分でやるという先生もいらっしゃいましたが、基本的には特に問題もなくスムーズに進みました。技師側の作業としては、7施設分を全てここ(ふじさきクリニック)でまとめてそれぞれの施設と紐づけし依頼していたので、慣れていないと違う施設に登録してしまうこともあり、一時、負荷は大きくなっていました(苦笑)。でもそれも、各診療所がそれぞれ確認して依頼するという流れに運用を変更し解消されました。

(桑島先生) 全体的にみると結果返しが早くなるというメリットが大きかったので横展開もwelcomeムードでスムーズに進みました。自分でやりたいという先生もいましたが、実際に2週間以内での結果返却のスピード感でできるのかというやりたくてもできないという状況もあり、横展開が進んでいきました。

(宍戸さん) エムネスさんは早い時は朝出したら夕方には結果が見れるということもあって、結果返却は本当に早いと思います。郵送では絶対にできないスピード感ですし、エムネスさんならではの速さだと思います。

システムを使用しているおかげで、事務作業も減ったと思います。以前は手書きレポートを転記するときに先生のクセなどがあり大変だったり、印刷した紙を出したりしていたのですが、その辺りも解消され楽になったと聞いています。

事例④ 健診読影のアウトソーシング化で負担軽減&収益 UP

■ 今後目指していきたいこと

通っている患者さんからは進行がんを出さないように、検診受診者を増やしていきたい

(桑島先生)川崎市のがん検診など行政が行う検診の場合、紙ベースのやり取りが求められていたり読影の順序が決まっているためどうやっていくか課題は抱えていますが、通っている患者さんには積極的に個々の検診も勧めていきたいです。ここに通っている患者さんからは進行がんを出さないようにしたいし、ニーズに答えるにはやっていくしかないのを知恵を絞ってやっていくしかないと思っています。検診を増やせば収益も上がりwin/winの関係になれると思いますし、国が定めた5つのがん検診は積極的にやっていきたいです。

健診／検診は健康な人へのアプローチのため医療とは質が違います。将来重症化する人を洗い出すという意味では、健診／検診をたくさんやるということに意味はあると思います。

【番外編】CT搭載車の活用事例

番外編① 城谷内科医院

患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用



番外編① 患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用



城谷内科医院 様

【業態】クリニック・高齢者施設

【専門】呼吸器科

【お話を伺った方】院長 城谷 良文先生

【課題】 CTを設置したいが、CTを設置するには費用が相当かかる

- 導入の背景 呼吸器科が専門なので、CTは欲しかった。ただ設置するには、本体や放射線を遮蔽する壁など、初期投資が相当かかる
- 導入の決め手 初期投資なく、CTを導入できる。リフト完備で車いすでも使いやすい
- 導入後の効果 「わざわざ遠くの病院に行かなくていいから楽だ」と患者さんが喜んでいる。
移動CTレンタルサービスを利用して大正解

番外編① 患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用

■ 導入の背景

話を聞いてすぐ、これは良さそうだと思います。

2011年にこの医院を新築移転したのですが、その時、CTを設置するかどうか迷いました。私は呼吸器科が専門なので、CTは欲しかった。ただCTを設置するには、本体や放射線を遮蔽する壁など、初期投資が相当かかります。設置後も、メンテナンスの費用や技師の人件費が必要になる。その費用に見合うだけ、CT検査が必要な患者さんが来るとは思えませんでした。維持費だけで赤字になるだろうと。結局、CT設置は見送り、CT検査が必要な患者さんは近くの病院を紹介して撮ってもらおうという結論になりました。

ところが、新築開業してしばらく経ったころ、エムネスさんがCT車レンタルの営業に来た。話を聞いてすぐ、これは良さそうだと思います。

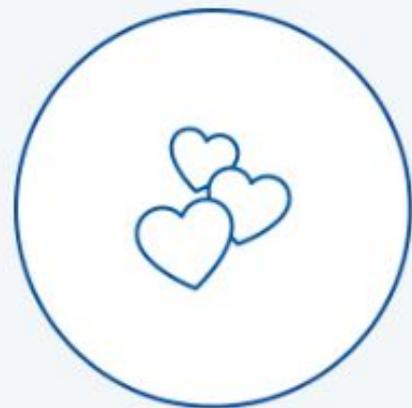
番外編① 患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用

■ LOOKREC導入後の効果

「わざわざ遠くの病院に行かなくていいから楽だ」

2012年からCT車レンタルサービスを利用しています。検査日を偶数月の第2水曜日と決めて、CT検査が必要な患者さんにはその日に来院してもらいます。医院の患者に加えて、配置医をしてる高齢者施設の入所者も合わせて、1日に約20人程度検査しています。

当院は駐車場が広いので、大きなCT車でも余裕で駐車できます。実際にCT車で検査してみると「わざわざ遠くの病院に行かなくていいから楽だ」と患者さんも喜んでいました。収支を考えれば、CT車レンタルと遠隔診断を合わせて少し赤字。でも、患者さんのサービスだと思えば十分です。



番外編① 患者さんへのサービスとして CT搭載車を利用



リフト完備で車いすやストレッチャーでも大助かり

例えば、高齢者施設の認知症を患った方は、その後異常が無いかどうか、2～3年ごとに検査しています。入所者の多くが寝たきりなので、別の病院でCT検査するとなると、ご家族が送迎しなくてはならない。しかも車いすやストレッチャーなので、病院の玄関から検査室まで誘導するのも大変です。

移動CT車の場合、高齢者施設からCT車まで、職員が車で送迎します。ご家族は何もしなくていいわけです。CT車にはストレッチャー用のリフトも装備してあるので、病院の検査室まで誘導するような手間がまったくかかりません。移動CTレンタルサービスを利用して大正解でした。

番外編② 行政機関(広島県)での導入事例

COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現



番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現



広島県での導入事例

【業態】行政機関

【特例】COVID-19

【課題】迅速な検査・診断と安全な運用

■ 導入の背景

2020年からの新型コロナウイルス感染拡大により、
自宅待機中の患者が亡くなった

■ 導入の決め手

スピード感と安全性を確保できた

■ 導入後の効果

4日間で約200名の患者の検査とトリアージを行い、
撮影から最短4分(中央値12分)での読影結果返却を実現

番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現

■ 背景

新型コロナウイルス感染拡大で、広島県による全患者のCTトリアージプロジェクトが発足

2020年からの新型コロナウイルス感染拡大により、全国的な医療体制の逼迫が問題になっています。エムネスの本社がある広島県も例外ではなく、2020年12月の時点で約700人の陽性者のうち半数の350人が診察を受けられないまま自宅待機を指示されていました。その状況下で自宅待機中の患者が亡くなったことをきっかけとして、**広島県による全患者のCTトリアージプロジェクトが発足、エムネスからのCT搭載車と医療クラウドLOOKRECの提供が決定しました。**

迅速な検査・診断と安全な運用が課題

新型コロナウイルスのトリアージ待機解消のためには**短時間で多くの検査を実施すること、医療従事者の安全を確保することが求められました。**また、このCT検査を受ける方は全てコロナ陽性者のため、**他の来院者との接触を減らし、密集を避けなければいけません。**



番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現

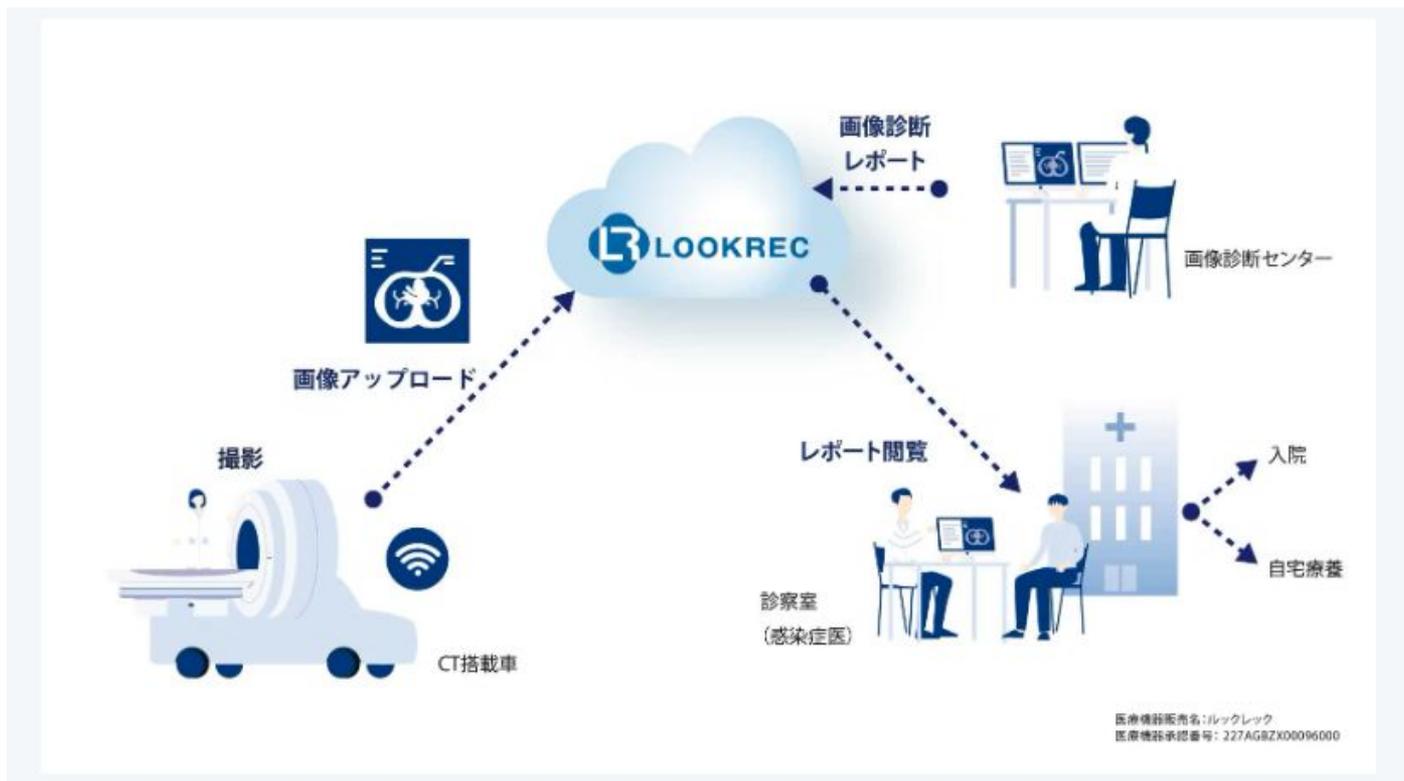
CT搭載車とLOOKRECでスピード感と安全性を確保

LOOKRECはインターネット接続端末があればどこからでも画像の閲覧やレポート記入が可能です。エムネスのエンジニアにより、コロナトリアージ専用のレポートシステムが開発・実装され、診断とレポート作成がより迅速にできるようになりました。

読影医は現地に行かずしてLOOKREC上で画像の閲覧と読影・レポート記入ができるので、タイムラグが少なく済む上に感染リスクはゼロになります。

エムネスで所有している移動CT搭載車を隔離した場所に駐車することで、一般の来院者の安全も確保しました。CT車からは携帯電話の回線で画像をアップロードします。

番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現



番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現



■ 導入後の効果

約200検査に対して12分(中央値)で結果まで返却

4日間で約200名の患者の検査とトリアージを行いました。

その場で受付、問診票記入、バイタルチェック・採血、CT、診察という流れです。1日目はCTの診断レポート作成に時間がかかるためCT撮影の間に採血を行ったところ、血液検査の結果よりもCTのレポートが早く届いたため、2日目から順番を入れ替えました。

CT車内部や技師の装備も特別に対策し、検査に臨みました。結果として、撮影から最短4分、中央値12分での読影結果返却を実現しました。

番外編② COVID-19 CTトリアージを遠隔医療で実現

LOOKREC (クラウド) だから実現できたこと

1. 計画から実施までわずか2日間での立ち上げ

LOOKRECは、オンプレミスのシステムと違い、関連機器へのインストールの必要がありません。それによって、短時間で肺炎トリアージ専用読影ツールの開発と実装ができました。

2. チーム医療の安全確保

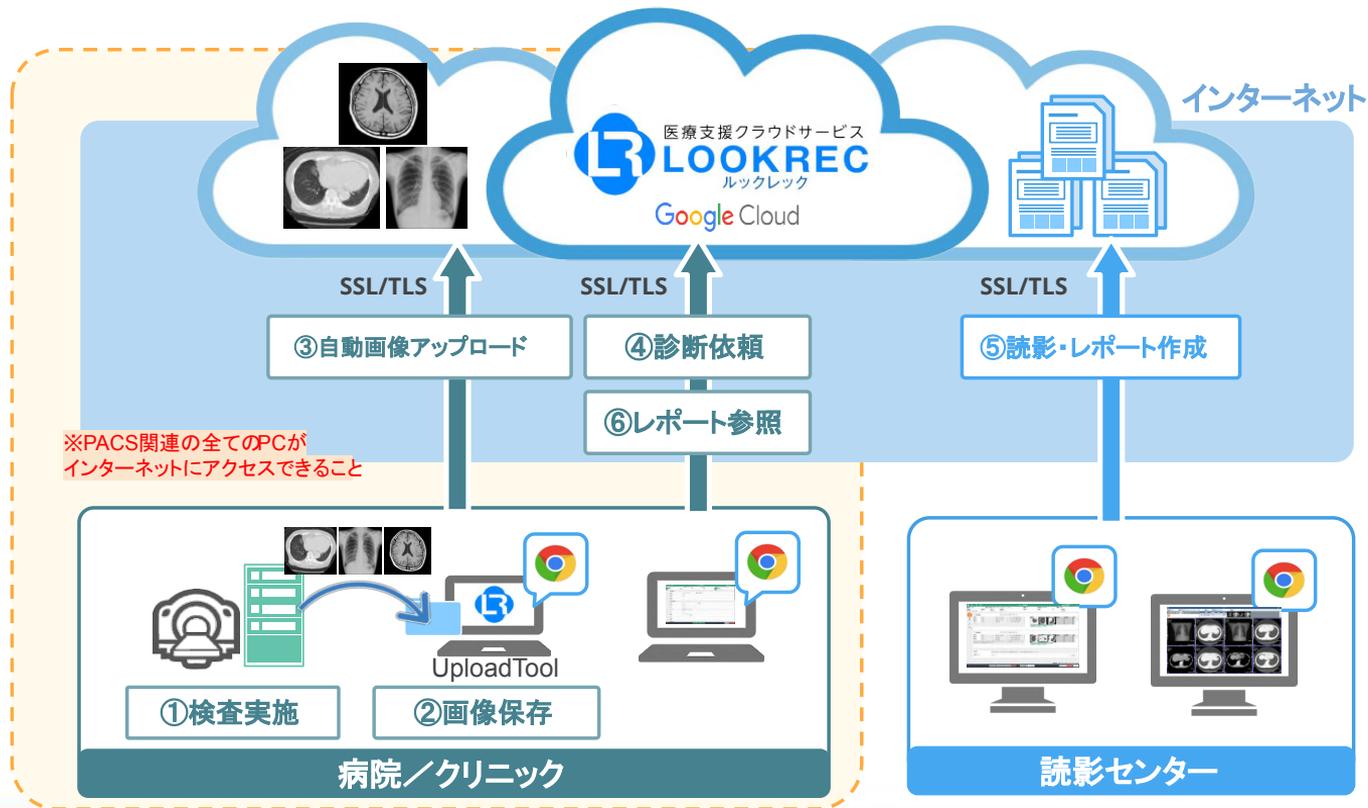
LOOKRECを介すことで、撮影と診断を物理的に離れた場所で行い感染リスクを最小化したため、対応できる読影医を早期に確保できました。

3. 診断スピードの向上

CT車からLOOKRECへ直接画像をアップロードし、読影や診断結果返却もクラウド上で行うことで、トータルスピードの向上を図ることができました。

エムネスの遠隔画像診断

LOOKRECを介した遠隔画像診断の流れ



エムネスの遠隔画像診断 4つの強み

強み1 依頼から平均23時間で
結果返却! ※健診領域

2024年度1年間の健診領域の結果返却実績値は平均23時間を実現! お急ぎオプションなら**最短1時間でレポート返却が可能**です。

強み2 レポート内容のお問い合わせには**医師が対応**

稼働前や稼働後も含め、**直接常勤医も打ち合わせに同席**し、依頼元施設からのご要望をお伺いし意見のすり合わせも医師が実施。

強み3 再読影依頼は**即時対応**

診断に対する質問や懸念の相談を受けた際は、読影センターにいる複数名の医師で**緊急カンファレンス**を実施し回答。

強み4 医師毎の**判定ブレも解消**

LOOKREC上で「部位」「所見」「判定」で診断を行い MNES内で運用ルールを設け **医師毎の差を限りなく軽減する仕組み**を構築。



継続率 97%！高品質・高サポートで安心

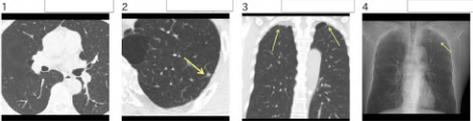
2000年に、遠隔画像診断をスタートしたエムネスでは、**延べ291万件受注・年間150万件の健診読影受託の実績**があります。

現在、放射線診断専門医科医約10名が常勤しており、他、病理診断専門医、脳神経外科専門医も各1名在住と**業界最大級の読影センター**を保持しています。

さらに**継続率は脅威の97%！**エムネスの遠隔画像診断が**いかに高品質で皆様にご満足いただけている**かお判りいただけると思います。



常勤医師による質の高い丁寧なレポート！

画像診断報告書	
外来 主治医	Dr
検査日	
氏名	患者番号
科	性別
	生年月日
	検査名 CT
症状、経過等	
肺結核い	
所見 方法(単純) 部位(胸部)	
両肺：上中肺野に、小葉中心性気腫性変化を疑う無構造低吸収域～小葉泡様所見が分布し、胸膜下にはブ ラが多発しています 肺野はやや過膨脹です 気管支に病的狭小化は見られません	
左上葉に数mmの結節を認めます(図2-1) 多形性、小葉間隔壁に連続するよう肺内リンパ節など良性所見 が疑われます	
両肺尖胸膜下に結節状・不定形影が見られ陳旧性炎症後変化と考えます(図3)	
両肺に腫瘍性病変は指摘できません	
胸水、縦隔リンパ腺腫大は認めません	
冠動脈石灰化を認めます 心拡大や心嚢水増加は指摘できません	
胸部大動脈に壁石灰化を認めますが、病的拡大は指摘できません	
位置決め像で、左上肺野に見る結節状影は、左第1肋骨下縁の張り出しです(図4)	
1 2 3 4	
	
診断	
肺気腫、ブラ、 左肺小結節：良性所見と思われ、 肺尖軽度炎症後変化、 冠動脈石灰化、動脈硬化症。	
診断日	報告医

エムネスでは**10名以上の常勤放射線診断専門医が在籍**しており、**ピュアレビュー**を実施するなど診断の質の維持、向上に務める体制を構築しています。

POINT 1

診断報告書は病巣部が把握しやすい
KEY画像付きの書式

POINT 2

パソコン上で閲覧・保存 (PDF形式) 印刷
が可能

POINT 3

診断内容や検査方法などの
お問い合わせにも電話で対応

低線量肺がんCT検診の遠隔画像診断にも対応

エムネスの常勤医全員が、肺がんCT検診認定機構の「肺がんCT検診認定医」資格を持つ医師で構成されたプロフェッショナル集団です。地域事情に合わせた柔軟な導入モデルを選択いただけます。



【パターンA】 遠隔読影セットプラン

対象: 読影医の確保が難しい地域、繁忙期、検診における効率性を最も重要視される施設

運用: 撮影した画像をLOOKREC経由で自動送信し読影まで一気通貫で行います。

メリット: 採用コスト、固定費0。認定医による質の高い読影をローコストで対応できます。



【パターンB】 システム単体プラン

対象: すでに読影医がおり、システムで効率化を図りたい施設。

運用: 撮影施設からLOOKRECの専用レポートで迅速に読影。画像とレポートの管理も簡単に行えます。

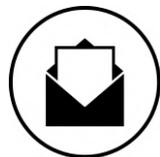
メリット: 既存の医療体制を強化し、作業を効率化することでスマートな検診フローを構築できます。

ハイブリッド運用も可能

「最初は読影依頼、将来的に内製化へ」「繁忙期だけエムネスの読影医に依頼」といった柔軟な使い分けも可能です

お問い合わせ・無料トライアル

お気軽にお問い合わせください



お問い合わせ

詳しいお見積もりや、ご利用条件などお気軽にお問い合わせください。
担当者より折り返しご連絡させていただきます。

メール: marketing@mnes.org



LOOKRECを無料でお試し

こちらの[トライアルお申込みフォーム](#)より、必要事項をご記入後送信ください。
LOOKRECのお試しアカウントが発行され 1ヶ月間、無料でお試しいただけます。

エムネスについて

ミッション&事業紹介

MISSION

身体の状態をありのままに正確にリアルタイムに伝え世界中の医師や医療従事者が連携して、患者のために理想の医療が提供できるようにすること

Medical

遠隔画像診断 グループ

放射線診断専門医 常勤約 10名
その他専門医 非常勤医約 70名

北村 直幸

1993年広島大学医学部卒業、
放射線診断専門医。
2000年に遠隔画像診断センター
「エムネス」設立、
「霞クリニック」院長を兼務。



データヘルス

Technology

医療支援 クラウドサービス



LOOKREC



阿部 伸一

Google のクラウド事業において
日本法人の代表を9年間
務めたのち2020年4月に
エムネスの代表取締役役に就任。

会社概要

会社名 株式会社エムネス

所在地 広島オフィス(本店所在地) / 広島画像診断センター
〒734-0023 広島県広島市南区東雲本町 1-2-27

東京オフィス
〒105-7508 東京都港区海岸 1-7-1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 8F

設立 2000年10月10日

代表者名 代表取締役社長 阿部 伸一

事業内容 医療支援クラウドサービス「LOOKREC」
独立放射線科医/独立病理医開業支援
遠隔画像診断サービス、遠隔病理診断サービス
車載CT装置レンタル
CT/MRI撮影技術指導、医用画像機器導入コンサルティング
医療機器販売/貸与

